

最終処分場 維持管理計画

廃棄物処理施設等の維持管理の概要	埋立処分する廃棄物の搬入時における確認及び計量の方法	搬入産業廃棄物は展開検査場所において安定型産業廃棄物以外のものが混入していないかどうか確認する。 計量は運搬車両の自重計又は積込時の記録確認にて行う。（搬入量が確認できない場合は受入しないものとする。）
	埋立処分する廃棄物の飛散、流出及び悪臭の発散防止方法	埋立区域下部には土えん堤を設置し、流出を防止する。 また、悪臭の発生する廃棄物は扱わない。
	ねずみ、蚊、はえその他の害虫の発生防止方法	特に発生しない。
	騒音、振動及び粉じんの発生防止の方法	最終処分場区域境界での騒音レベルを80dB、振動レベルを65dBに維持する。また、埋立にあたっては重機によって充分踏み固めを行い、粉じんの発生を防止する。
	周縁地下水の水質検査の方法及び測定頻度	処理場上流と下流の2箇所に周縁地下水水質観測井戸（φ100mm）を設置しており、年1回地下水項目検査を実施する。
	浸出液、浸透水及び放流水の水質検査の方法並びに測定頻度	処分場盛土内に浸透水採取設備を設置しており、BODは月1回、地下水項目検査は年1回実施する。
	発生ガスの排除方法	排ガスは出ない。
	覆土材の確保の方法及び覆土方法	処分場内の掘削による発生土及び取引先建設会社数社の捨土、残土で覆土を行う。 覆土はバックホーにて行う。
	周縁地表水の排除方法	U型側溝にて下流の沈砂池を経由し小水路へ放流する。
諸設備の点検体制及び点検責任者（職・氏名）	管理責任者及び点検責任者 代表取締役 新 沼 学 点検は従業員をもって行う。	